

各関係機関の長殿
各病害虫防除員殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和元年度病害虫発生予察注意報第7号について

令和元年度病害虫発生予察注意報第7号を発表したので送付します。

令和元年度病害虫発生予察注意報第7号

トマトの黄化葉巻病の発生が見られます。適切なほ場管理と適期防除に努めましょう。

- 1 病害虫名 : トマト黄化葉巻病
病原ウイルス : *Tomato yellow leaf curl virus* ; TYLCV
媒介虫 : タバココナジラミ
- 2 作物名 : 冬春トマト (ミニトマトを含む)
- 3 発生地域 : 県下全域
- 4 発生量 : やや多
- 5 注意報の根拠

(1) 12月中旬に実施した巡回調査(10地点)において、黄化葉巻病の発生面積率は、10.0%(前年10.0%、平年4.3%)で平年よりやや多、発病株率は、0.9%(前年0.1%、平年0.1%)で平年より多の発生であった(図1)。

(2) 本病を媒介するタバココナジラミの12月中旬の巡回調査(10地点)における発生面積率60.0%(前年30.0%、平年44.7%)で平年よりやや多、百葉当たり虫数0.6頭(前年0.4頭、平年1.7頭)で平年よりやや少の発生である。

(3) 鹿児島県地方気象台が12月19日に発表した向こう1か月の気温(12月21日～)は高い確率が70%で、タバココナジラミの増殖及び活動に好適な状況が続くと考えられる。

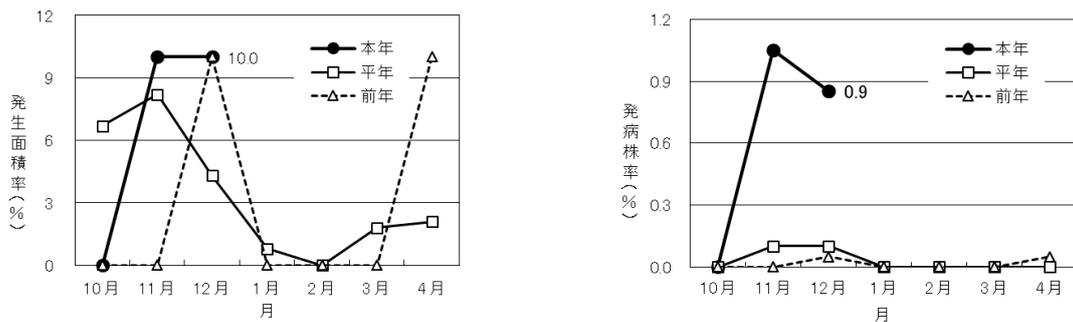


図1. 黄化葉巻病の発生面積率(左)と発病株率(右)の推移

6 防除上の注意

- (1) ハウスの開口部(サイド、谷部など)には目合い0.4mm以下の防虫ネットを設置する。すでに設置しているハウスについては、隙間等がないか再度点検し、必要に応じて補修する。
- (2) ハウス内に黄色粘着板トラップを設置し、コナジラミ類の早期防除に努める。
- (3) ハウス内の発病株は伝染源となる。見つけ次第直ちに抜き取り、施設外に持ち出し適切に処分する。
- (4) 抵抗性品種であっても伝染源となるため、感受性品種と同様に防除を行う。
- (5) ハウス周辺及び内部の雑草は、タバココナジラミの生殖・増殖場所となる。栽培期間中は定期的に除草する。
- (6) 野良生えトマトは、重要な伝染源となるので、抜き取り土中に埋める等適切に処分する。
- (7) タバココナジラミの有効な薬剤に対する抵抗性の発達を回避する観点から、同一系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を心がける。

7 その他

その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センターなど関係機関に照会してください。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課
(病害虫防除・肥料検査センター) 松浦・黒木

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp